

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

令和5年度 第97回
簿記実務検定試験
第2級

(令和6年1月28日実施)

時間 10時50分から12時20分 (制限時間90分)

注意事項

- 1 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は1ページから7ページまであります。
- 3 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 途中退室は原則できません。
- 6 試験終了後、問題用紙も回収します。

受験番号

受験番号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当座預金	受取手形	電子記録債権
売掛	金	仮払消費税	支払手形	電子記録債務
買掛	金	仮受消費税	売上	受取利息
仕入		支払利息		

- a. 群馬商店は、得意先の高崎商店に対する売掛金 $\yen 768,000$ について、同店の承諾を得て、電子債権記録機関に電子記録債権の発生記録の請求をおこなった。
- b. さきに、東京商店に対する買掛金の支払いのために振り出した約束手形 $\yen 417,000$ について、支払期日の延期を申し出て、同店の承諾を得た。よって、支払期日の延期にともなう利息 $\yen 2,000$ を加えた新しい手形を振り出して、旧手形と交換した。
- c. 徳島商店は、商品 $\yen 385,000$ (消費税 $\yen 35,000$ を含む) を売り渡し、代金は掛けとした。ただし、消費税の処理方法は税抜き方式により、仮受消費税勘定を用いている。

2 次の各問いに答えなさい。

(1) 令和5年/2月3/日における栃木商店(決算年/回 /2月3/日)の次の建物台帳と総勘定元帳(一部)によって(ア)から(エ)の金額を答えなさい。

建 物 台 帳							
所在地		栃木県栃木市片柳町5-1-30		耐用年数	22年		
用途		店 舗		償却方法	定額法		
登録番号		1501		残存価額	零(0)		
年	月	日	摘 要	取得価額	償却額	残 高	備 考
2	/	/	小切手払い	39,600,000		39,600,000	
	/2	31	減価償却(1期目)		1,800,000	37,800,000	
3	/2	31	減価償却(2期目)		()	(ア)	
4	/2	31	減価償却(3期目)		()	()	
5	/2	31	減価償却(4期目)		()	()	

令和5年/2月3/日における総勘定元帳(一部)

建 物	
1/1 前期繰越 ()	12/31 次期繰越 (イ)
建物減価償却累計額	
12/31 次期繰越 ()	1/1 前期繰越 (ウ)
()	12/31 減価償却費 (エ)
	()

(2) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

a. 簿記には、すべての取引について発生した順に記録をする仕訳帳と、財務諸表を作成するとき資料となる総勘定元帳の2つの帳簿がある。これらは、簿記の仕組みを支える最低限必要な帳簿であるため という。

1. 複式簿記 2. 集合勘定 3. 補助簿 4. 主要簿

b. 商品売買に関する取引を3分法で記帳するとき、商品を売り渡した場合は、売上勘定に記入する。この売上勘定を英語では という。

1. Purchases account 2. Sales account 3. Cash account 4. Checking account

(3) 支店会計が独立している高知商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- ア. 本支店合併後の現金
- イ. 本支店合併後の当座預金
- ウ. 本支店合併後の買掛金
- エ. 本支店合併後の当期純利益

資 料

i /2月30日における元帳勘定残高（一部）

	本 店	支 店
現 金	¥ 405,000	¥ 75,000
当 座 預 金	1,347,000	342,000
売 掛 金	1,182,000	431,000
支 払 手 形	371,000	—
買 掛 金	804,000	415,000
本 店	—	634,000 (貸方)
支 店	634,000 (借方)	—

ii /2月3/日における本支店の取引

- ① 本店は、支店の売掛金 ¥81,000 を現金で受け取った。
支店は、その報告を受けた。
- ② 本店は、支店の広告料 ¥35,000 を小切手を振り出して立て替え払いした。
支店は、その報告を受けた。

iii /2月3/日における本支店間以外の取引

- ① 本店は、土佐商店に対する本店の買掛金 ¥192,000 の支払いのため、約束手形を振り出して支払った。

iv 当期における本支店それぞれの収益総額および費用総額

本店	収益総額	¥19,105,000
	費用総額	¥18,304,000
支店	収益総額	¥ 5,891,000
	費用総額	¥ 5,746,000 (資料ii②の広告料も含まれている)

v 資料ii, iiiの取引処理後における本支店合併後の貸借対照表

貸 借 対 照 表

高知商店 令和5年/2月3/日 (単位：円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	(ア)	支 払 手 形	()
当 座 預 金	(イ)	買 掛 金	(ウ)
売 掛 金	()	借 入 金	600,000
商 品	898,000	資 本 金	3,000,000
備 品	1,491,000	当 期 純 利 益	(エ)
	()		()

3

神奈川商店では3伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、

- (1) 1月10日の略式伝票を集計したさいの、仕訳集計表の(ア)から(ウ)に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- (2) 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の普通預金勘定の残高を計算しなさい。ただし、1月9日の普通預金勘定の残高は¥3,275,200(借方)であった。

取 引

- 1月10日 横浜商店に商品 ¥58,000 を売り渡し、代金は現金で受け取った。
- 〃 日 鎌倉家具店から備品 ¥291,000 を購入し、代金は現金で支払った。

<u>入金伝票</u>	<u>振替伝票(借方)</u>	<u>振替伝票(貸方)</u>
売掛金 42,600	売掛金 187,000	売 上 187,000
売掛金 56,800	仕 入 269,500	買掛金 269,500
前受金 100,000	広告料 67,400	普通預金 67,400
受取手数料 3,000	買掛金 134,000	普通預金 134,000
売掛金 98,700	普通預金 86,200	売掛金 86,200
() ()	() ()	() ()

<u>出金伝票</u>
買掛金 38,000
買掛金 129,000
消耗品費 3,400
前払金 85,400
普通預金 400,000
() ()

仕訳集計表
令和6年1月10日

借 方	元丁	勘定科目	元丁	貸 方
		現 金		(ア)
		普通預金		
		売掛金		
		前払金		
		備 品		
(イ)		買掛金		
		前受金		
		売 上		
		受取手数料		
		仕 入		
		広告料		
		消耗品費		
				(ウ)

4 千葉商店の下記の取引について、

- (1) 総勘定元帳に記入しなさい。
 (2) 補助簿である現金出納帳、仕入帳、買掛金元帳、A品の商品有高帳に記入しなさい。
 ただし、i 総勘定元帳は、日付と金額のみを記入すればよい。
 ii 商品有高帳は、先入先出法により記帳している。
 iii 現金出納帳、仕入帳、買掛金元帳、商品有高帳は月末に締め切るものとする。
 iv 消費税については考えないものとする。

取 引

1/月/日 浦安商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 300個 @ ¥1,120
 B品 60〃 〃 〃 550

12日 全商銀行の当座預金口座より、次の小切手#ZS35007を振り出して現金を引き出した。

ZS35007		小 切 手		全国 5001 0914-019	
令和5年1月12日		支払地 千葉県千葉市中央区塩田町372		株式会社 全商銀行 千葉支店	
金額	¥200000	金額		¥200,000	
渡先	当店	上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください 拒絶証書不要		千葉県千葉市中央区松波2-22-48 千葉商店	
摘要	現金引き出し	振出日 令和5年1月12日		振出地 千葉県千葉市 振出人 千葉 一郎	
残高	¥562000				

15日 君津商店から次の商品を仕入れ、代金は現金で支払った。

C品 400個 @ ¥ 350

17日 浦安商店に対する売掛金 ¥604,000について、同店より現金で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

22日 成田商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A品 250個 @ ¥ 840
 D品 100〃 〃 〃 530

23日 館山商店に対する買掛金 ¥148,000を、小切手#ZS35008を振り出して支払った。

24日 22日に成田商店から仕入れたD品をすべて返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くこととした。

D品 100個 @ ¥ 530

次ページに続く

25日 浦安商店に次の商品売り渡し、代金は掛けとした。

A品 150個 @ ¥1,120
C品 200〃 〃 〃 510

〃日 上記の商品売り渡したさい、発送を船橋運送に依頼し、代金は現金で支払い、次の領収証を受け取った。なお、発送にかかった費用は当店負担のものである。

領 収 証	
No. 0015923	
令和5年1月25日	
千葉商店 御中	
¥17,000 -	
ただし、配達料金として 上記正に領収いたしました。	
船橋運送	
千葉県船橋市市場4-5-1 047-422-XXXX	

29日 成田商店に対する買掛金について、次の請求書を受け取っていたが、本日、小切手#ZS 35009を振り出して支払った。

請 求 書				2023年1月20日 No.230102		
千葉県千葉市中央区松波2-22-48						
千葉商店 御中				成田商店		
毎度ありがとうございます。				千葉県成田市松崎 20		
下記の通りご請求申し上げます。				TEL 0476 (26) XXXX		
前のご請求分	ご入金額	繰越金額	今回お取引金額	今回ご請求金額		
¥ 209,000	¥ 209,000	¥ 0	¥ 391,000	¥ 391,000		
年月日	商品名	数量	単位	単価	金額	備考
2022.12.27	A品	400	個	¥ 820	¥ 328,000	
	B品	150	個	¥ 420	¥ 63,000	
	以下余白					

5

埼玉商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 損益計算書に記載する売上原価の金額を求めなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 410,000	当座預金	¥ 2,310,000	受取手形	¥ 1,200,000
売掛金	1,450,000	貸倒引当金	9,000	有価証券	2,700,000
繰越商品	1,620,000	備品	1,500,000	備品減価償却累計額	960,000
土地	2,000,000	支払手形	918,000	電子記録債務	200,000
買掛金	1,075,000	借入金	1,600,000	従業員預り金	340,000
資本金	7,000,000	売上	28,576,000	受取地代	198,000
仕入	21,745,000	給料	3,984,000	支払家賃	1,452,000
保険料	294,000	租税公課	175,000	支払利息	36,000

付記事項

- ① 浦和商店に対する売掛金 ¥150,000 が当店の当座預金口座に振り込まれていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,409,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定率法による。ただし、償却率は40%とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
南東商事株式会社 1,500株 時価 /株 ¥1,750
- e. 保険料前払高 保険料のうち ¥168,000 は、本年10月/日からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 利息未払高 ¥ 12,000
- g. 地代未収高 ¥ 18,000

6

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

当座預金	仮払法人税等	未払法人税等	資本金
資本準備金	繰越利益剰余金	創立費	開業費
株式交付費	損益		

- a. 香川商事株式会社は、企業規模拡大のため、あらたに株式30,000株を1株につき ¥1,600 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥700 は資本金に計上しないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥250,000 は小切手を振り出して支払った。
- b. 愛媛産業株式会社は、第18期の決算の結果、当期純利益 ¥914,000 を計上した。
- c. 茨城物産株式会社（決算年/回）は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税及び事業税の合計額 ¥1,580,000 の2分の1を小切手を振り出して納付した。

第97回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [解答用紙]

1	借 方	貸 方
	a	
	b	
	c	

2

(1)

ア	イ
ウ	エ

(2)

a	b
---	---

(3)

ア	イ
ウ	エ

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

6 得点	総得点
----------------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

3

(1)

ア	¥
イ	¥
ウ	¥

(2)

¥

4

(1)

現金 1		総勘定元帳 当座預金 2		売掛金 4	
1/ 1	41,000	1/ 1	762,000	1/ 1	235,000
買掛金 9		売上 13		仕入 15	
	1/ 1 539,000			1/ 4	80,000
	4 80,000				
発送費 18					

(2) (注意) 現金出納帳, 仕入帳, 買掛金元帳, 商品有高帳は締め切ること。

現金出納帳 9

令和5年	摘要	収入	支出	残高
/ /	前月繰越	41,000		41,000

仕 入 帳

10

令和 5年	/ /	摘 要	内 訳	金 額
	4	館山商店 掛け B品 200個 @ ¥400		80,000

買 掛 金 元 帳

成 田 商 店

1

館 山 商 店

2

令和 5年	/ /	摘 要	借 方	貸 方	借 ま た 貸	残 高	令和 5年	/ /	摘 要	借 方	貸 方	借 ま た 貸	残 高
		前月繰越		391,000	貸	391,000			前月繰越		148,000	貸	148,000
								4	仕入れ		80,000	〃	228,000

商 品 有 高 帳

(先入先出法)

品名 A品

単位：個

令和 5年	/ /	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
		前月繰越	400	820	328,000				400	820	328,000

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">3</div> 得点	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">4</div> 得点
--	--

5

(1)

貸借対照表

埼玉商店

令和5年2月3日

(単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		電 子 記 録 債 務	
受 取 手 形 ()		買 掛 金	
貸 倒 引 当 金 ()		借 入 金	
売 掛 金 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
有 価 証 券		資 本 金	
商 品		()	
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			
土 地			

(2)

✍

6

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

5 得点		6 得点	
----------------	--	----------------	--